「くるめゼロカーボンチャレンジらぼ」第２回開催レポート

令和 8 年 10 月 24 日(土)、「くるめゼロカーボンチャレンジらぼ」の第２回を開催しました。

主催は東久留米市、運営は一般社団法人サステナブル市民会議代表理事の横山稔さんと進めています。

「くるめゼロカーボンチャレンジらぼ」には、公募によって集まっていただいた 21 名の東久留米市民が参加しています。

第２回は、「個人で始められる行動、身近な人と取り組むための工夫を考えよう！」というテーマで開催しました。参加者数は 14 名でした。

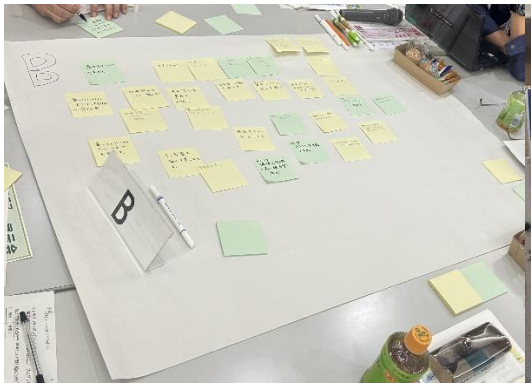


前回の振り返りや今後の流れのお話から始まり、「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」について、国立研究開発法人産業技術総合研究所キャリアエキスパートの歌川学さんに講演を行っていただきました。

講演では、近年の光熱費高騰により、東久留米市全体で年間約 180 億円（推定）ものエネルギー費用がかかり、その大半が地域外に流出している課題が示されました。そして、地球温暖化対策は「日々の暮らしに我慢を強いるもの」ではなく、「住まいの断熱化や省エネ機器の導入によって効率よくエネルギーを使い、光熱費の削減で初期費用を回収できる『家計にもやさしい取り組み』である」というお話がありました。




後半は、「個人で始められる行動、身近な人と取り組むための工夫」というテーマでグループワークを行いました。そのグループワークを元に、それぞれが「いつ、どこで、どのように実践するか」を具体的に落とし込んだ「Ｍｙ行動宣言！」を作成し、お互いの宣言を確認し合いながら、自分たちの行動が地域社会にどう広がるかをイメージする時間となりました。




第２回も、第１回同様、熱心に話し合いが行われていました。らぼ終了後に、参加者からは「もっとグループワークがしたい」とのお声もちらほらありました。

今回のグループワークや「Ｍｙ行動宣言！」を作成した中でのそれぞれの気づき等を、次回（第３回）に活かしていただきたいです。

環境政策課（A.K）